

平成28年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1495200188	事業の開始年月日	平成24年7月1日	
		指定年月日	平成24年7月1日	
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社			
事業所名	愛の家グループホーム中原下小田中			
所在地	(211-0041) 神奈川県川崎市中原区下小田中3-28-18			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成28年10月9日	評価結果 市町村受理日	平成29年2月9日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.wam.go.jp/wamappl/hyoka/003hyoka/hyokanri.nsf/pSearch3?Open>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームでは、利用者様に対し「1日に何回笑って頂けるか」を目標とし、「その人らしさ」を大切にされたケアを、日々、心掛けております。認知症や心身の障害があっても、いついかなる時でも、人が人らしくあり続ける為、施設に入居される以前と同じように自分らしいライフスタイルで生活して頂く為、入浴や散策、余暇活動等の時間設定を極力設けず、お一人お一人の個性や趣向を重視した「したい時にしたい事ができる環境」作りも進めております。又、地域に根付いた認知症対応型施設として、近隣の地域活動にも積極的に参加する事で交流を図る他、様々な機会を通じて新たな出会いや触れ合いを大切にして行きます。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵠沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成28年11月19日	評価機関 評価決定日	平成29年1月26日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、JR南武線「武蔵中原駅」南口から徒歩15分、住宅と畑に囲まれた閑静な場所にあります。平成24年7月の設立です。建物は2階建てで広い駐車場があり、駐輪場、災害備蓄品倉庫を設置してあります。法人は全国255の介護事業所を展開する株式会社です。

<優れている点>

事務管理や書類保管、薬、予備の車椅子保管、備品などが、独立した部屋に整理整頓されています。職員ロッカー休憩室は、健康に配慮したソファが置かれ、職員会議室や来客室などは機能的で、優れた環境が整っています。障がい者を清掃員として雇用し、どの部屋も清潔に保たれています。職員は介護に専念でき、入居者の生活の質向上に効果をあげています。介護計画見直しは3ヶ月ごとですが、本人の意向を大切に、心身の状況に合った柔軟な対応をしています。機能訓練士によるリハビリを実施しています。毎年、職員、食事、入浴、日常生活、ケアプラン、健康管理、安全面、満足度について家族アンケートを実施しています。自施設と全国平均の比較を家族へ配布し、技術、知識、接遇サービスの向上を図っています。

<工夫している点>

トイレや浴室に絵文字を用いています。居室の表札横にボードを設置し、利用者の好みの写真や絵を飾り、自室の確認を容易にしています。運動と認知課題(計算・しりとり)を組み合わせたコグニサイズ体操を行っています。「虐待・不適切なケア、身体拘束」チェックシート30項目を確認し、3ヶ月ごとの研修に反映しています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	愛の家グループホーム中原下小田中
ユニット名	1階 せせらぎユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	運営理念をホーム全体で共有・実践する為、全体での定期的な理念唱和・確認を実施しております。	会社の理念「SMC愛の家：運営理念」をスタッフルームに掲げ、毎日朝礼で唱和し確認しています。南関東事業部の28年度「GH基本指針」も掲示し、共有しています。事業所独自の理念はこれから定める方向です。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域イベントへの参加・近隣保育園等との交流を図っております。	町内会に加入し、夏祭りなどの行事に参加しています。保育園と交流し、中学生の職業体験を毎年受け入れていきます。地域ボランティアから体操などの指導を受けています。施設行事の案内を配布し、参加を呼び掛けています。	地域の防災拠点を確認し、災害時に支援が受けられる体制を整え、また、事業所の防災避難訓練に地域の参加を得られるような働きかけが期待されます。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を通して、認知症について理解を深めて頂けるよう研修・勉強会を行っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	活動報告後、話し合いの時間を設けて、意見や提案の吸い上げに努めております。	入居者家族や地域包括支援センター職員、町内会長、民生委員の参加を得て2ヶ月ごとに実施しています。行事、人員、事故、研修などの状況報告や意見、要望について施設の考え方を説明し、具体的な対応方法を明示しています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進会議の他、管理者が定期的に区役所等へ赴き、ホームの活動や状況報告を行っております。	ホーム長が書類申請などで定期的に区役所を訪問し、運営推進会議の報告も行っています。県・市役所からの研修は要員配置の関係で参加が困難となっています。グループホーム連絡会に加入し、お互いに情報交換しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関する研修を定期的に行い、ホーム全体での理解に努めております。	職員入職時に「身体拘束の取り扱いに関する要綱」を渡し、説明しています。毎年定期的に「身体拘束及び虐待防止について」の研修を実施しています。徘徊防止のため、フロアの出入り口は施錠しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	身体拘束同様、内部研修を定期的に行い、ホーム全体での理解に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	定期的に行っている、内部研修や本社より指導して頂く研修や講義を行っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には契約書や重要事項説明書の読み合わせや質疑に充分時間を取り、ご家族様や御本人様の理解を図っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議を始め、ご意見ボックスを設置し、御意見と御要望の吸出しに努めております。	全事業所を対象に家族アンケートを実施し、自施設と全国平均との比較表を玄関に掲示しています。運営推進会議の出欠確認返信票に「意見・要望」記入欄を設けています。書式を記述式から項目チェック式への変更を検討しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	スタッフとの面談を定期的に行い、普段、聞き出しにくい意見や提案を聞き取る環境作りを行っている他、ユニット会議やホーム会議でも発言の場を設けております。	ホーム長と職員の個別面談を定期的実施しています。また、ユニット会議やホーム会議で運営に関する意見や要望の把握に努めています。研修参加希望者にはシフト変更や勤務時間帯を変更するなど柔軟に対応しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	上記同様、スタッフの面談での対応や各スタッフの意見の吸出しを行い、職場環境や勤務条件の整備に努めております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的なホーム内研修の他、社内と社外研修にも積極的に参加を促し、各スタッフ、及び、ホーム全体のスキルアップを進めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	定期的に同地域内でのグループホーム連絡会を開催しており、交流を図ると共に、サービスの質の向上に努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	契約前にアセスメントや契約時等に十分な時間を確保し、御本人様からの「言葉」をできるだけ引き出すように努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前に聞き取りの時間を大切にし、御本人様同様、御家族様の声を大切にするように心掛けております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	当方からは強要はせず、選択肢や方法を提示し、最終的な御判断は、御本人様と御家族様に委ねる形を取っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	「スタッフと入居者様が一緒に生活を築き上げていく」という考え方を持って、一方的な介護ではなく、入居者様が主となり、それらを支える支援を大切にしております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	御家族様とは、可能な限り密接に連絡を取りながら、御本人様を支えるチームとしての関わりを心掛けております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御家族様と連絡を取り、病院や外出等、可能な限り馴染みの町、馴染みの場所を大切に、日課作りを進めております。	以前の住まいの訪問や、花見、墓参り、行きつけの美容院、病院、レストランでの食事など、今までの生活の一部を家族の協力を得て支援しています。手紙や電話の取次ぎ支援もしています。家族や親しい友人の訪問を歓迎しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	生活を共にする同フロア内の入居者様同士は勿論の事、フロア間の交流も大切にし、施設一体で支えあう事の出来る環境を築いております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去された方やその御家族様に対してのケアも行っております。中には、お礼や感謝の言葉も頂いております。今後も、その場で切れてしまう関係ではなく、いつまでも繋がっていただける環境を築いております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その方の生活全般において、全ての決定権は、御本人様にあるという、基本を大切にし、その都度、アセスメントやケアプランを作成しております。	入浴時や日々の関わりの中で声を掛けたり、言葉や表情から一人ひとりの思いや意向の把握に努めています。意思疎通が困難な人は、家族や関係者から情報を得るように努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前のアセスメントは勿論ですが、入居後も、御本人様や御家族様から聞き取りを行う「知る努力」を怠らないように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ケアプランのモニタリングを介護記録と連動させて行う事で、日々、現状の把握が行えるように工夫しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	御家族様、担当医、スタッフとの情報共有を行いながら、検討を重ねた上で介護計画を作成しております。	本人や家族の希望・要望を参考にしたグループホームサービス計画書から日課計画表を作成しています。サービス担当者会議を踏まえてモニタリングし、ケアケアマネジャー、介護職員、医師、看護師、薬剤師などが協議してケアプランを見直しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	記録を行い、スタッフ間で情報共有を行いながら、介護計画の見直しをケアプランに落とし込んでおります。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	御本人様の希望や御家族様の要望を理解した上で、固定観念に囚われない対応を心掛けております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の祭りやイベントへの参加を行っております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	提携病院の強要等は、一切行わず、選択肢の一つとして提示し、かかりつけ医の選択を推奨しております。	月2回、連携内科医の診察と薬剤師の管理指導があります。週1回、歯科医の診察と訪問看護師の健康管理を行っています。数名がかかりつけ医を受診しています。専門医の受診は原則家族同行で、緊急時は支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に1回、訪問看護が見えます。訪問看護と情報を共有し、細やかなケアに努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主に管理者やケアマネージャーが面会に訪れ、面会と病院関係者との情報の収集と状況の把握に努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	医療関係や御家族様、当ホーム関係者が一丸となってチームと成し、具体的な方向性をしっかり話し合い、支援に取り組んでおります。ターミナルケアを行った実績もあります。	入居契約時に重度化、看取り介護に関わる指針を説明しています。事業所内で看取りケア研修を行い、複数の看取り経験をしています。重度化介護計画は本人と家族に説明し、同意を得、看護師を確保し、24時間医師連絡体制をとっています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	様々な研修に参加する事で、実践力の向上と技術の発展に努めております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に防災訓練や内部、若しくは外部の研修に参加し、万が一の状況に備えております。	年2回、昼間及び夜間想定火災避難訓練を実施しています。地域防災訓練に参加しています。入社時研修で災害時避難経路と一次避難所、防災設備の設置場所と操作方法の基本を習得し、確認項目チェックシートで実践に備えています。	行事や避難訓練のお知らせを地域に配って参加を促し、災害時の地域住民との協力体制を構築することが期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	声かけや接遇に関しては、常識的に指導や勤勉に励み、御本人様の存在に対して、尊厳を尊重した接し方をしております。	研修年間計画表を作成し、認知症ケア、緊急時・誤嚥時対応、熱中症予防、身体拘束・虐待防止、プライバシー保護、人格を尊重した接遇方法などを毎月学び、「心を込めた介護で快適で穏やかな生活」の理念にふさわしい支援に努めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	常に、御本人様が選択する自由を持っていることを忘れることなく、接するよう指導、教育を行っております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	当施設は、スタッフにとっては職場であるも、ご入居者様は生活の場であることを認識し、業務に従事しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご入居者様の希望に添えるように、お化粧品や、ネイルなどを実施しております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の準備や後片付け等、出来るだけ、ご入居者様と一緒に参加する事で、生活の場での役割を提供しております。	家族も参加できるお楽しみ昼食会を2ヶ月ごとに実施しています。食材納入業者の協力で、寿司や天ぷら、手打ちそば作り、ソーメン流し、バーベキューなどで、楽しみながら家族や職員との交流を深める支援を行っております。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	専属の調理師を配置し栄養管理に努めており、また記録の確認やチェック表の作成など、お一人お一人の食事・水分摂取量の把握に努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	ご入居者様、お一人お一人にあった口腔ケアを行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	ご入居者様、それぞれの排泄に関わる問題を把握し、理解した上で、それぞれにあった方法で支援しております。	トイレは絵文字をドアに貼り、分かりやすい工夫をしています。トイレチェック表で一人ひとりの排泄パターンを全職員で共有し、個別の排泄支援につなげています。転倒防止とトイレでの排泄に向けた支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	薬に頼る前に食事療法や運動療法等を取り組み、積極的に提供しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	ご入居者様お一人お一人の好みに合わせ、入浴を楽しんで頂けるように提供しております。	入浴は週2回ですが、毎日入浴している人もいます。入浴しない人はシャワーや足浴など、状況に応じた支援をしています。好みの入浴剤やしょうぶ湯で季節感を味わいながら職員と個別の会話を楽しんでいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ご入居者様お一人お一人に沿った睡眠状況を把握し、最良な睡眠を提供できるように提供しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	担当医や看護師との連携を密に図り、慎重且つ正確な対応に努めると共に、スタッフへの薬の効果や副作用の周知を図っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	その方らしい生活を行えるように、個性や趣向を尊重したケアを目指して取り組んでおります。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	定期的に外気浴や散歩、買い物などのサービスを提供しております。また家族の協力を得ながら、外出も積極的に支援しております。	3月は江川せせらぎ遊歩道の花見、11月は公園の紅葉を見に行く支援をしています。徒歩5分のスーパーに買い物に出掛け、預り金から自分で買い物をする支援も行っています。日常的に近隣住宅の周囲を散歩しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ホーム管理とさせて頂いておりますが、ご入居者様が望まれた場合、お預かりしている金額より、自由に買い物等を楽しんで頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	御本人様が希望された場合、電話や手紙等の支援を行っております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	分かりやすい表示を掲示し、ご入居者様が混乱しないように努めております。又、季節に応じたフロア内の飾りなども行ってまいります。	職員の笑顔写真が玄関に掲示しており、温もりを感じます。玄関と居間に大小のクリスマスツリー、解放廊下には習字や絵、紅葉の色紙作品や写真を展示し、季節感を表しています。めだかの水槽をテーブルの中央に置き、泳ぐ姿を見ながら笑顔で過ごせる空間を作っています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	部屋は個室になっており、お一人で過ごせる環境にあります。またフロアはいつでもご自由に使用できる状況にあり、ご自由に使用して頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	永く使用された物や愛着のある物を多く持参されることで、入居初日より快適に過ごして頂ける工夫を行っております。	備品はエアコン・クローゼット・洗面台です。広めの部屋にはベッドや使い慣れた家具、テレビ、加湿器、アルバムなど、好みの物を持ち込んでいます。居心地良く過ごせるよう、配置を工夫しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	施設内の様々な環境や道具を活かすことで、安心して安全な生活を送って頂いております。		

事業所名	愛の家グループホーム中原下小田中
ユニット名	2階 パンジーユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
		○	2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えています。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
		○	2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	運営理念をホーム全体で共有・実践する為、全体での定期的な理念唱和・確認を実施しております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域イベントへの参加・近隣保育園等との交流を図っております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を通して、認知症について理解を深めて頂けるよう研修・勉強会を行っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	活動報告後、話し合いの時間を設けて、意見や提案の吸い上げに努めております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の他、管理者が定期的に区役所等に赴き、ホームの活動や状況報告を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関する研修を定期的を実施し、ホーム全体での理解に努めております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	身体拘束同様、内部研修を定期的を実施しホーム全体での理解に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	定期的に行っている、内部研修や本社より指導して頂く研修や講義を行っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には契約書や重要事項説明書の読み合わせや質疑に充分時間を取り、ご家族様や御本人様の理解を図っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議を始め、ご意見ボックスを設置し、御意見と御要望の吸出しに努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	スタッフとの面談を定期的に行い、普段、聞き出しにくい意見や提案を聞き取る環境作りを行っている他、ユニット会議やホーム会議でも発言の場を設けております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	上記同様、スタッフの面談での対応や各スタッフの意見の吸出しを行い、職場環境や勤務条件の整備に努めております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的なホーム内研修の他、社内と社外研修にも精力的に参加を促し、各スタッフ、及び、ホーム全体のスキルアップを進めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	定期的に同地域内でのグループホーム連絡会を開催しており、交流を図ると共に、サービスの質の向上に努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	契約前にアセスメントや契約時等に十分な時間を確保し、御本人様からの「言葉」をできるだけ引き出すように努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前に聞き取りの時間を大切にし、御本人様同様、御家族様の声を大切にするように心掛けております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	当方からは強要はせず、選択肢や方法を提示し、最終的な御判断は、御本人様と御家族様に委ねる形を取っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	「スタッフと入居者様が一緒に生活を築き上げていく」という考え方を持って、一方的な介護ではなく、入居者様が主となり、それらを支える支援を大切にしております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	御家族様とは、可能な限り密接に連絡を取りながら、御本人様を支えるチームとしての関わりを心掛けております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御家族様と連絡を取り、病院や外出等、可能な限り馴染みの町、馴染みの場所を大切に、日課作りを進めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	生活を共にする同フロア内の入居者様同士は勿論の事、フロア間の交流も大切にし、施設一体で支えあう事の出来る環境を築いております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去された方やその御家族様に対してのケアも行っております。中には、お礼や感謝の言葉も頂いております。今後も、その場で切れてしまう関係ではなく、いつまでも繋がっていただける環境を築いております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その方の生活全般において、全ての決定権は、御本人様にあるという、基本を大切にし、その都度、アセスメントやケアプランを作成しております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前のアセスメントは勿論ですが、入居後も、御本人様や御家族様から聞き取りを行う「知る努力」を怠らないように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ケアプランのモニタリングを介護記録と連動させて行う事で、日々、現状の把握が行えるように工夫しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	御家族様、担当医、スタッフとの情報共有を行いながら、検討を重ねた上で介護計画を作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	記録を行い、スタッフ間で情報共有を行いながら、介護計画の見直しをケアプランに落とし込んでおります。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	御本人様の希望や御家族様の要望を理解した上で、固定観念に囚われない対応を心掛けております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の祭りやイベントへの参加を行っております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	提携病院の強要等は、一切行わず、選択肢の一つとして提示し、かかりつけ医の選択を推奨しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に1回、訪問看護が見えます。訪問看護と情報を共有し、細やかなケアに努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主に管理者やケアマネージャーが面会に訪れ、面会と病院関係者との情報の収集と状況の把握に努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	医療関係や御家族様、当ホーム関係者が一丸となってチームと成し、具体的な方向性をしっかり話し合い、支援に取り組んでおります。ターミナルケアを行った実績もあります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	様々な研修に参加する事で、実践力の向上と技術の発展に努めております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に防災訓練や内部、若しくは外部の研修に参加し、万が一の状況に備えております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	声かけや接遇に関しては、常識的に指導や勤勉に励み、御本人様の存在に対して、尊厳を尊重した接し方をしております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	常に、御本人様が選択する自由を持っていることを忘れることなく、接するよう指導、教育を行っております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	当施設は、スタッフにとっては職場であるも、ご入居者様は生活の場であることを認識し、業務に従事しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご入居者様の希望に添えるように、お化粧品や、ネイルなどを実施しております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の準備や後片付け等、出来るだけ、ご入居者様と一緒に参加する事で、生活の場での役割を提供しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	専属の調理師を配置し栄養管理に努めており、また記録の確認やチェック表の作成など、お一人お一人の食事・水分摂取量の把握に努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	ご入居者様、お一人お一人にあった口腔ケアを行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	ご入居者様、それぞれの排泄に関わる問題を把握し、理解した上で、それぞれにあった方法で支援しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	薬に頼る前に食事療法や運動療法等を取り組み、積極的に提供しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	ご入居者様お一人お一人の好みに合わせ、入浴を楽しんで頂けるように提供しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ご入居者様お一人お一人に沿った睡眠状況を把握し、最良な睡眠を提供できるように提供しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	担当医や看護師との連携を密に図り、慎重且つ正確な対応に努めると共に、スタッフへの薬の効果や副作用の周知を図っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	その方らしい生活を行えるように、個性や趣向を尊重したケアを目指して取り組んでおります。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	定期的に外気浴や散歩、買い物などのサービスを提供しております。また家族の協力を得ながら、外出も積極的に支援しております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ホーム管理とさせて頂いておりますが、ご入居者様が望まれた場合、お預かりしている金額より、自由に買い物等を楽しんで頂いております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	御本人様が希望された場合、電話や手紙等の支援を行っております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	分かりやすい表示を掲示し、ご入居者様が混乱しないように努めております。又、季節に応じたフロア内の飾りなども行っております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	部屋は個室になっており、お一人で過ごせる環境にあります。またフロアはいつでもご自由に使用できる状況にあり、ご自由に使用して頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	永く使用された物や愛着のある物を多く持参されることで、入居初日より快適に過ごして頂ける工夫を行っております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	施設内の様々な環境や道具を活かすことで、安心して安全な生活を送って頂いております。		

平成28年度

事業所名 愛の家グループホーム中原下小田中

作成日： 平成 29年 2月 1日

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	・町内会や近隣住民、保育園など定期的な交流はあるものの、災害時における、地域の方々からの支援体制が確立できていない。	・地域の方々との交流をより深いものにし、協力体制を築く。	・毎月、町内会の会議に参加させて頂く。 ・会議室の無料貸し出しや、休憩所、一時避難所として地域の方々にホームを利用して頂き、更なる交流を図りながら、地域の方々の協力を上げる体制をつくる。	3ヶ月
2	35	・事業所で行う防災訓練に、地域の方々の参加が出来ていない。	・年2回行う事業所での防災訓練に地域の方々にも参加をして頂く。	・地域の方々にお便りをお配りし、防災訓練への参加を促す。 ・運営推進会議で防災訓練の参加を呼び掛ける。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。